

先進地視察での意見について

新ごみ処理施設整備に当たり参考とすべき事項のまとめ

基本方針1 持続可能な処理と安定した運営	基本方針2 災害に対する強靱性向上	基本方針3 循環型社会・脱炭素社会の形成推進	基本方針4 新たな処理システムの取組み	基本方針5 地域特性による廃棄物への対応	基本方針6 圏域住民のための施設の実現
<ul style="list-style-type: none"> ●ごみ処理施設へのごみの搬入 ・年末年始及び長期連休時等のパッカー車、個人搬入車両による渋滞発生への対応 ●プラットフォーム内は一定の幅を確保 ●ごみ搬入車両・退出車両動線と、ごみ投入扉に向かう動線が干渉しない安全性の確保 ●収集車、圏域住民等の直接搬入車両の動線の精査 ●収集車、圏域住民の直接搬入の車両台数から計量機数の精査 ●圏域住民の搬入用ダンピングボックスライン引き数の精査 (例：2レーン化等) ●市有地で圏域内中央部、かつインフラ整備されている場所 ●焼却残さの資源利用を考慮した焼却方式の精査 ●先進地施設の設備等のメリット、デメリットを探究 ●最新技術（AI技術）を利用した効率化 ●シルバー人材センターの活用 ●公設民営とする場合の適切な業者の選定 ●受入料金の適切な設定 (受付時の混雑緩和) ●高齢者や障害者の雇用の可能性の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に備えた避難施設としての位置づけと地域間協力体制の構築 ●災害時の一時避難所となる機能を備えた施設 	<ul style="list-style-type: none"> ●発電設備の能力は自家消費以外に余剰電力を売払いまで行えるような設備にする必要があるか精査 ●再資源化の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ●不燃物処理の効率化 ・収集→各市町 ・中間処理→広域行政 ●圏域住民が直接持込可能な資源ごみストックヤードの設置 ●資源物の再資源化（中間処理）施設も広域化の可能性の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ●中型・大型動物の死骸を受入れによる石巻圏域の課題解決 ●中・大型動物の受入れ可能となる方策の検討 ●中型・大型動物の一部を排熱利用した減容施設等の検討 ●中型・大型動物の処理の専焼炉のあり方 ●刈草、剪定枝の処理 ・一部制限付きで焼却処理 ・一部を別処理し資源化（堆肥化等） ↳地域還元 ●大量の刈草を受入れによる石巻圏域の課題解決 ●草木の受入れ可能となる方策の検討 ●刈草、剪定枝の一部を資源化（堆肥化等）することにより、全体焼却量を削減しCO2排出量を削減 ●刈草処理の一部を排熱利用した減容施設等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●見学者を意識した見せる構造で関心を高める方策 ・処理工程が見えるエリア ・壁や床にトリックアート ・設備装置の写真展示（実物大） ・壁面及び床に実物大イラスト ・見学通路導線の整理 ・子供用、大人用パンフレット ・体験型の施設見学 ●小学校の見学や視察が楽しめるような設計は過剰にならない程度に抑制 ●施設規模に応じた臭気対策による周辺地域への環境配慮 ●処理施設を適切なレベルで清潔に保全できる方策の検討 ●不快施設のイメージが一新される処理施設の検討

先進地視察先：大崎中央クリーンセンター及び登米市クリーンセンター（令和6年7月31日実施）